



English Camp

日吉津村では、次世代を担う人材の育成のため、村在住の中学生をオーストラリアに派遣しています。令和元年度のオーストラリア派遣は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期。令和2年度は、感染防止のため、県内施設を利用した2泊3日の「English Camp」に変更して実施しました。

1日目 3月25日(木)

ヴィレステで結団式をした後、バスで八頭町 OOE VALLEY STAY へ
 ※バスの中、英語で30秒の自己紹介
 みんな、しっかり準備していました。



気合いの入った自己紹介



バスの中は大盛り上がり

英語活動① キエン先生の「色が表す性格」



いつギャグが飛び出すかわからないキエン先生



色が自分の気持ちとつながる？
 色が持つ意味とは!?

はじめに、自分の好きな色を理由も含めて説明。色そのものが持つ意味を学んだ後で、企業のロゴの色と企業イメージがつながるかどうかを調査しました。その後で、色と体の各部位とのつながりを学びました。いきなりハイレベルの学習でしたが、活動をとおして生徒たちが英語でなんとか伝えようとする力を育てることを目的としています。

スポーツ (OOE VALLEY STAY アリーナ)

2時間しっかり英語を話した後に気分転換。ボルダリング、トランポリン、バスケット、チーム対抗ドッジボール大会を行いました。これだけ本気でドッジボールをするのも久しぶりでしょう。



啓斗くんのボールをいかによけるかが勝負の鍵!



体をしっかり動かしてリフレッシュ!

英語活動②「振り返り、出し物相談」



英語で話す機会がたくさんあるのがこのキャンプの魅力



夜まで続く振り返りと、翌日の打ち合わせ



わかるまで何度も調べる
 グループで解決していきます



どのグループも、チームワークバッチリ

2日目 3月26日(金)

英語活動③ ジェイミー先生の「サバイバルゲーム」

これから無人島に行きます。持っていくことができる物は6つまで。英語で相談して持ち物を決定。行く島はゾンビ島、人食い島、恐竜島、暑くて寒い島。各島で、どのように生きていくかを英語で説明しました。



これ本当に必要?どんな島に行くのか、まだわからない



3日間発表の連続。時間の経過とともに慣れてきます

英語活動④ マリア先生の「誰でしょう?」



辞書を片手に追加の質問を考え出しています



えっ?この先生の答えは怪しい!本当かな???

渡されたプリントには、人のイメージを尋ねる質問。さらに詳しく知るための質問を辞書を片手に作成しました。その後、外に出て、考えた質問を4人の先生に尋ねました。その回答が怪しい先生は誰でしょう。質問した生徒が水を吹きかけられる瞬間、4人の先生はドキドキ。

英語活動⑤ グレイ先生の「アメリカのコミック」

アメリカにあるコミック文化。10ページ程度にまとめられたコミックは多くの人に親しまれています。まず、絵だけを見て、ストーリーを想像して発表。次に、あらすじを調べ説明しました。まとめに、日本とアメリカのアニメを比較しました。



どうやって説明しよう・・・?



わかりやすく伝えるには、どのように表現すればよいか

調理「外国の料理（タコス作り）」



タコス作りに初挑戦。おいしくできるかな？



ジェイミー先生こだわりタコスを作成中！



キエン先生こだわりタコスも美味！あっという間になくなってしまいました



他のグループのタコスもおいしい！タコス大成功！

英語活動⑥「出し物」

笑いあり、涙あり？の出し物を紹介。もちろん全て英語で。



A「ジンドレラ」JIN になりきれるか!?



B「赤ずきんちゃんⅠ」ほのぼのしたストーリー



C「紙コップダンス」みんなの呼吸を合わせることができるか!?



D「赤ずきんちゃんⅡ」赤ずきんちゃんって、こんなストーリーでしたっけ？

3日目 3月27日(土)

英語活動⑦ 発表『私のEnglish Camp』

1日目と2日目の振り返りでまとめた資料をもとに3日間の自分の活動をレポートするのが、最後の課題です。中学校で学んだ単語や英文法を駆使しながら、原稿を作成しました。日吉津小学校の青砥先生にプレゼンテーションソフトの使用法を教わり、タブレットパソコンで資料を提示しながら発表しました。全員が、意欲的に活動に取り組んできたことが感じられました。

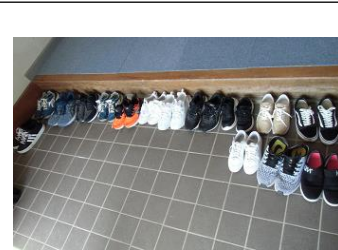


『English Camp』を終えて

最終日に、生徒達が「もう終わりたくない。」「まだ続けたい。」と何度も言っていました。参加した生徒達の充実感を感じ、嬉しく思います。3日間の活動をとおして、時間の経過とともに、生徒達が英語を用いた発信に抵抗が少なくなり、会話が多くなっていくのを目の当たりにして、英語が飛び交う環境の持つ力を感じざるを得ませんでした。生徒達が自発的に英語を話すように、3日間の活動をとおして関わってくださった、イングリッシュスクール米子のキエン先生、グレイ先生、マリア先生、そして日吉津小学校のジェイミー先生に心から感謝します。



宿泊した OOE VALLEY STAY



英語を話せるだけじゃない。日々の当たり前が大切



不屈の精神を学ぶ



活動場所の大江公民館にて



解団式後。名残惜しさは留まることなく



大江の郷自然牧場は「パンケーキ」が有名